

【県連合報告】第22回定期大会を終えて

「熊本版 reboot 社民党」を共に実践していきましょう！

党員の皆さんの日々の活動に
心から敬意を表します

先般開催しました「社民党県連合 第22回定期大会」について、熊本市総支部が機関紙『総支部からあなたへ』のなかで非常に熱のこもった報告記事(裏面に全文掲載)を配信してくださいました。今回は熊本市以外の党員の皆さんへも共有すべく、この記事の内容をご紹介しながら、県連合としての今後の決意をお伝えします。

■「今、必要なのは、諦めではなく 連帯、分断ではなく協働」

今大会では、今泉代表から「困難な時代だからこそ、人と人が支え合い、共に前に進む力が問われている」との力強い訴えがありました。また、これまでの歩みを振り返り、「魂を取り戻さなければ。これからも諦めずに、しぶとく続けていこう」という決意が語られています。

さらに、記事の後半には大会で出された党員の皆さんからの「生の声(意見や質疑)」がリアルに紹介されています。

組織や発信への苦言・提言:「党首選後の」記者会見は地方での頑張りを水泡に帰

す行為」「新報号外は、文字だけでなく写真も入れ読みたくなる工夫も」「若い人向けにはSNSが重要」

政策へのこだわり:「県連合は消費税廃止。全国連合の方針では減税となっている。税の再配分こそ社会民主主義。廃止には反対」

党勢拡大へのアイデア:「ミニ集会在大事。有権者が抱えるいろんな問題を聞いて一緒に考える。連帯感が生まれる」

■「いただいた厳しい意見・ 温かい提案を真摯に受け止めて」

こうした、時に厳しくも愛のある「生の声」こそが、今の私たちに最も必要なエネルギーです。地方の現場で汗を流す党員の皆さんの頑張りを決して無駄にすることはしないと、県連合役員一同、身の引き締まる思いで皆さんの言葉を受け止めています。

広報のあり方、SNSの活用、そして政策のブレない発信など、いただいたご意見やアイデアはどれも的を射たものばかりです。これらを単なる「意見」で終わらせず、今後の具体的な活動へとしっかり反映させ、強化していくことをお約束します。



社民党熊本県連合第22回定期大会

社会新報熊本県版のバックナンバーは下記のアドレス、
右の二次元コードからご覧いただけます

<https://drive.google.com/drive/folders/11kSLR5PZfthSPRXuYGNqYfXVEIt2G-6-?usp=sharing>



■「熊本版

reboot(再起動)社民党」へ！

今、私たちに求められているのは、現状維持ではなく「変革」です。

熊本市総支部が発信してくれたこの熱量を県内全域へと広げ、それぞれの地域に根ざした活動をアップデートしていきましょう。党员一人ひとりの思いに寄り添い、共に苦しみながらも、一歩ずつ前へ。

いただいたご意見を糧に、今こそ「熊本版 reboot 社民党」を皆さんと共に実践してまいります。引き続きのご支援と、それぞれの現場での力強い活動をよろしくお願いたします！

社民党熊本県連合代表 今泉克己



社民党県連合
第22回
定期大会



今泉代表のあいさつのようす

今必要なのは、諦めではなく連帯
分断ではなく協働

社民党県連合は4月18日、菊陽町で第22回定期大会を開いた。熱心な討論の末、すべての報告・議案が承認・可決された。

今泉代表はあいさつの中で、今必要なのは、諦めではなく連帯、分断ではなく協働、困難な時代だからこそ、人と人が支え合い、共に前進する力が問われている。

社会民主主義は、そのための現実的で力強い道筋を示すもの。ポピュリズムに陥ってはならない。県内の具体的な課題を出し合い、社民党の現状を踏まえて議論を進めていこうと訴えた。

橋村副代表は、選挙後、高市総理が「時は来た。憲法を変えよう」と声を大にしていることについて触れ、二人

一人の思いを下から支え、そして隣で共に苦しみながら歩んでいく社民党の魂をもう一度私たちは取り戻さなければ。その思いで今も活動を続けている。これから、どんな形で政治に向き合うのか分からないが、私がこれまでやってきたこと、そして皆さんと共にやってきたことを、これからも諦めずに、しっかりと続けていこうと思っ

2025年度一般事務報告と運動の総括では、今泉代

表から、拙かった党首記者会見、沖繩2区公認にかかる大橋前副党首の発言とその後

の経過について補足説明があった。党首記者会見に臨席していた橋村副代表からも事実説明があった。

▼意や質疑の一部を紹介

▼本当に見苦しい。福島さんも大橋さんも悪い。地方での頑張り水泡に帰す行為。社民党は団結してほしい。

▼沖繩2区で社民党公認を立けたのは正しい判断。

▼鹿児島には、また市議一人分の票はある。ぜひ候補者を見つけてほしい。

▼苦労して作った社会新報熊本県版、紙ベースで配布など党员以外にも見せよう工夫が必要。▼年配には紙ベースが必要。文字だけでなく写真も入れ読みたくなる工夫も。若い人向けにはSNS重要。拡散し易いXとかインスタを活用したらどうか。▼SNS対策・企画の工夫も必要。SNS使い方出張講習もできる。

▼消費税が県連合の方針では廃止。全国連合の方針では、減税となっている。▼消費税は、福祉政策の財源、廃止には反対。代わる財源を示す必要がある。▼税を集めてから再配分。これこそ社会民主主義、廃止には反対。

▼票拡大のためには、ミニ集会が大事。有権者が抱えるいろんな問題を聞いて一緒に考える。連帯感が生まれる。党员のやる気が重要。年配者には年配者しかできない運動があるはず。

▼事務所移転考えるべき。

▲社民党熊本市総支部が発行している「総支部からあなたへ」では県連合大会が熱く伝えられた